

劇的！！ 移住ビフォー→アフター

vol.3 大樹町 長谷川 彩(さい) さん

1 どうしてこのまちに？

「北海道に移住したい」とずっと思っており、特に北欧に似ている道東は自分の求めている環境でした。環境だけでいえば、斜里や網走、弟子屈、阿寒、津別などのオホーツク管内（とその境目）が特に好きだったのですが、やりたいことができなければ意味がない。「自分のやりたい本に関する仕事ができるまち」という観点で探しはじめ、このまちなら！と感じたのが、大樹町でした。



▲旭浜から望む夕焼け。この日はたまたま満月だった。

2 大樹町（十勝）に来てどのように感じましたか。



▲頂き物のカレーを初めて自分でおろし、煮物にして食べた。

野菜の味が東京にいたときに食べていたものとは、全然違います。そのため、スーパーで野菜を買うことがほとんどなくなりました（買うとしてもきのこくらい！）。道の駅や直売所で買う事が多いですが、農家さんと仲良くなれば、季節のものをもらえ、とてもありがたいです。また、大樹町は港もあるので魚も安く、新鮮でとても美味しいです。

それから、郊外を運転していてなにげなく見える景色がとても好きです。視界を遮るものがなくなり、日高山脈がパッと全面に見えるスポットが町内にいくつかあり、それが気に入っています。

3 北海道に来る前に不安（心配）に思っていたことは？

協力隊になる前から北海道には何度も来ており、半年くらい富良野で、2カ月くらい阿寒で仕事をしていたこともあります。そのため、北海道に来るにあたって不安な事はあまりなかったです。強いて言えば、美術館、劇場、寄席など文化的施設に行くのがすごく好きだったので、物足りなさを感じるかと思っていました。しかし、もともと分かっていた事だし、別の楽しみがたくさんあります。

4 実際に暮らしてみて不満な部分は？（想像とのギャップや戸惑ったこと等）

都会に比べて生活費があまりかからないというのが定説ですが、思っていたほどでもないです・・・！家族での移住であれば一軒家を購入するという点でとても安く感じま

すが、単身世帯向けの賃貸住宅は少なく、そこまで安くは感じませんでした。もちろん東京に比べればとても安く、部屋も広いのですが。

車の維持費や冬に備えるためのお金など、都会に住んでいたころとはお金をかける場所が変わってきます。「田舎は安い」とは安易に思わない方がいいかなと思います。

5 最後に移住を検討している方へメッセージをお願いします。

起業したい、違う業種の仕事に挑戦したい、今までの経験を活かして就職したい、など、「どんなふうに働きたいのか」、「どんなふうに住みたいのか」を自分でしっかり見極めてから移住するべきだと思います。

それを実現できる町はどこなのか。事前に複数候補を出しておいて、実際に行ってみる事です。また、引っ越す前に知り合いをたくさん作っておくと、移住後まちに溶けこみやすくなるし、楽しくなります。私は、移住する前から北海道にたくさん知り合いがいたので、だからこそ、仕事ができていると思います。移住に限ったことではないですが、人のつながりは大切してほしいです。

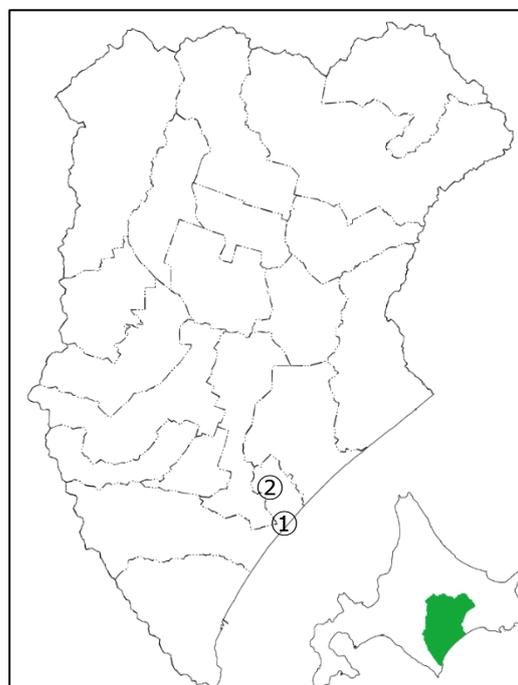
まち（十勝）のお気に入りスポット。

①晩成温泉（大樹町）

→目の前に広がる雄大な太平洋を見ながら、全国でも珍しいヨード泉に入れます。

②ピリカル珈琲店（大樹町）

→晩成にある一軒家カフェ。親娘で切り盛りされていて優しい時間が流れています。



大樹町について

大樹町は北海道の東部、十勝の南に位置し、東は太平洋、西は日高山脈に接し、中央部は広大な十勝平野が広がり、農業を中心に漁業、林業を基幹産業として発展してきました。日高山脈より日本一の清流「歴舟川」がまちを流れ、海岸には原生花園が広がり、美しい自然に恵まれています。大樹町はこの恵まれた自然を資源に、先人たちの「開拓魂」による絶え間ない挑戦によって発展してきました。人や夢がより大きく育ち、人も夢もより大きく育てる地域づくりを進めるため「～暮らしと明日を彩る清流の里～コスモスのまち大樹」をまちづくりのテーマにしています。（大樹町 HP より）